

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスほたる		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 13日		2026年 3月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44名	(回答者数) 30名
○従業者評価実施期間	2026年 3月 13日		2026年 3月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 31日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設の構造上、2フロアを適宜使い分けることができる	2フロアを適宜使い分けて利用者に合わせた活動が実施できるようにしている	階段の存在はバリアフリーとしてはネックになるが、引き続き活動内容やグループ分けを検討して活動を実施していく
2	法人内で連携したし支援ができる	長期休み等を利用して、卒業後の進路に向けて体験や実習などを実施している	引き続き進路に向けた体験や実習を実施していく
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	みあい特支の利用者の学年に偏りがあるため、新たな利用者を受け入れる余地が少ない。	新規開設の際に同学年の利用者が多く利用を開始し、その後利用継続しているため空き枠が出ることが少ない。	空き枠が出た際に異なる学年の利用者を入れていく。
2	利用者の学年に偏りがあるため、小集団の活動内容などがその学年中心となってしまう。	新規開設の際に同学年の利用者が多く利用を開始し、その後利用継続しているため空き枠が出ることが少ない。	小集団活動の中でも個別に合わせた課題設定をしていく。活動時間にとらわれず、普段の関わりでできる支援も行っていく。
3	職員間での報告・連絡・相談が徹底されておらず、確認ミスや二度手間が生じることがある。	報告・連絡・相談の習慣がいまいち根付いていない。兼務職員も多く、他者にもわかりやすいメモを残す等の配慮が少ない。	報告・連絡・相談の習慣づけ、初見でも分かりやすい情報の残し方など統一していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスほたる

公表日 2026/6/16

利用児童数 44人

回収数 29人

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	3		1	活動がのびのびできる十分なスペースがある。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	26	2		1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	5		1	不自由そうな子はいないので、特に問題なさそうだが、階段はバリアフリーにはなっていない	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28	1			いつも清潔にされているので、安心して利用できています。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	2			個別でSST等をして頂けて良かった。子どもに合わせた個別活動の内容になっています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29				保護者との面談や子どもの特性をよく理解した上ですごく丁寧に作られていると思います。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28	1			活動内容が同じにならないように、たくさん教材が用意されています。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	8	10	3	他の放課後デイの子と交流の場があると思います。必要なし。交流は希望しない。このままでいい。地域の子との関わりはないが、ウチの子には地域の学校に行っている利用児との関わりでも充分。利用日で知っているかぎりではあまりないように感じる。必要ないと思います。	地域の子もたちとの交流は現在検討しておりません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	27	2				
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	27	2			送り迎えの時に、子どもの様子などの話を聞いてもらえて助かった。いつもお迎えの際にその日の活動や子どもの様子を丁寧に伝えていただいています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28			1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28			1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	4	8	3	きょうだい同士の交流の場はないです。今年度は勉強会があったので、人によってはそこで交流ができたと思う。きょうだい同士の支援についてはあまり知らない。	保護者対象の勉強会などで検討していきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28		1		相談に対して早めに対応していただき助かった。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	27	1		1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	2			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	2		6	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23			6	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	1			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	2			無回答1
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29				毎週楽しみにしている。 職員の方々が温かく迎えてくださるので、本人もリラックスして過ごせているようです。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	28	1			「ほたるのお勉強は楽しい」と言っている。 朝に「ほたる！」と言ってくれるぐらい楽しみにしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29				親子共に色々とお助けを買っていると感じています。 きめ細やかな支援をしていただき、安心して利用できています。いつもありがとうございます。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	放課後等デイサービスほたる				公表日	2026年 6月 16日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	1階と2階を適宜使用し、子どもに合わせて活動や遊びのスペースを分けている。部屋が1階と2階で分かれているため、応用の幅が広く、保護者の迎えの際に、フィードバックで保護者に支援内容の報告を行う時もスムーズにできている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	3	職員の急な休みがあっても、法人内の他施設と協力体制が取れている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		階段に手すりが設置されているが、階段がカーブしており手すり側の奥行きが狭いところがある。	2階建て、階段の構造上、完全なバリアフリー化は難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		毎日掃除を行っている（休館日以外）。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		個室はいつでも使えるようになっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		朝と帰りのミーティングや職員会議を通して、振り返りや業務改善の話し合いをするよう努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		職員会議で内容の検討を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		月1回の職員会議や日々のミーティングで話し合いを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9		第三者評価は未実施。	現在のところ第三者評価の実施予定はない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	法人全体で研修の年間計画が立てられている。法人全体の研修とは別に、専門職による勉強会や職員会議の際にフィードバックや活動のやり方等の勉強会も実施している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		ホームページにて公表されている。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		専門職員の意見や評価等を取り入れている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		個別支援計画原案作成担当者会議を実施している。また、必要に応じて、職員会議で利用者のケース検討を実施している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		保護者面談後に職員間で個別支援計画やニーズの情報共有を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		月の外出先について、担当職員以外の職員にも意見を聴きながら反映している。日々の活動内容については、前回の反省を踏まえながら、活動の司会の人だけでなく皆で話し合っ決めていく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	日々の活動内容を職員間で相談しながら決めていく。週に複数回利用している利用者もいるため、内容が重ならないよう配慮している。小集団活動は内容の振り返りを行い、次の活動に繋がるようにしている。色々な手段で情報を集め、活動の案を出し合っ決めていく。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			朝・昼とミーティングを行い、情報共有を行っている。ホワイトボードを使用し、職員が情報共有できるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9			夕方にミーティングを実施している。ミーティングで話し合った内容は申し送り用紙に記入し、当日休みの職員にも共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9				
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9					
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9				自己選択が難しい場合には、本児の好きな選択肢を提示し、その中から自己選択できるよう支援している。最初は少ない選択肢から始め、徐々に選択肢の幅を増やすようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9				送迎時にその日のお子さんの情報を共有をしている。年間計画や行事予定、下校時間については、保護者を通じて把握をしている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1			法人内の児童発達支援事業所とは情報共有を図っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9				法人内の成人施設は引き継ぎを実施している。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	3			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	2			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2			障がい児通所事業所連絡会に参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9				日々のフィードバックや半年に一度の面談、連絡帳にて、必要に応じて行っている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9				日々のフィードバックや年に一度の面談の際に、関わり方や困り感等の話をしている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9				契約時に行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9				日々のフィードバックや半年に一度の面談時に行っている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9				半年に一度の面談時に行っている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9				日々のフィードバックや半年に一度の面談時に行っている。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		苦情受付窓口を設置し、契約時に説明を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		年4回おたよりを発行したり、法人内のホームページにて毎月最新ニュースを配信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		契約時に個人情報同意書の説明を行っており、特にホームページでの写真使用の同意について気を付けている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	2	法人内の老人デイサービスへ赴き、交流会を実施した。法人の行事として、夏まつりやクリスマス会を開催している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		年間を通して計画的に防災訓練が実施されている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		契約時に確認しており、家庭調査票への記入や該当児は発作個別対応票の記入をしてもらっている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		契約時に確認しており、該当児はアレルギー個別対応票の記入をしてもらっている。保護者に学校生活管理指導表のコピーをもらせてもらうよう依頼している。調理体験やおやつは学校生活管理指導表の内容をもとに保護者とすり合わせをして対応している。キッチンにアレルギー一覧表を掲示し、職員が情報把握できるようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		玄関に保護者が閲覧できるよう設置している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ミーティングや回覧で周知し、必要に応じてミーティングや職員会議にて検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		法人として研修日程が決まっている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		個別支援計画書に記載し、面談時に説明をしている。		